

令和6年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立大磯小学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の違いに気付き、伝えたいことを明確にすることができる。 ・情報と情報との関連付けの仕方や、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短答式（文の書き換えなど）の正答率が下がる傾向にあり、言い換えや書く単元を通して語彙力や言い回しを身に付けていきたい。 ・漢字の書き取りが定着しない課題があるため、漢字は、練習だけでなく、熟語づくりや短文づくり等、漢字学習の改善を図る必要がある。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・四角を用いて数量の関係性を式に表したり、直方体の見取り図について理解したりすることができる。 ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つ以上の思考が入る複雑な問題や理由を聞かれる問題では、正答率が低い。理由を言葉や数を用いて記述することができないため、自分の考えを伝える授業づくりをする。 ・数値の関係性や図形の特徴に気付いて解けるよう、日々「気付き」を意識した授業づくりを行う。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標をもっている児童や人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多く、将来に向けて自分をどうしたいか、自分像が描けている。 ・人が困っているときに助けたいと思う児童が多く、思いやりの気持ちが育っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強の仕方がわからない、なかなか結果に結び付かない等により、学習が楽しいと思えない児童が多い。課題の提示の仕方や体験・探求活動を取り入れた授業を構築していく。 ・4時間以上ゲームをしていたり、新聞をほとんど読まなかったりする児童がいるので、紙媒体の情報収集により活字にふれる機会を増やす。

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・情報活用に関連した問題の正解率が上がっているので、ICT機器をより効果的に活用できるような授業づくりを構築すると共に、使い方のルール作りや学習に有効なアプリを選定する。また、ICT機器に依存するがゆえ、「書く」学習が薄れてしまわないように、手書きでの学習も取り入れていく。 ・漢字の習得においては、ただ問題をこなすことを目標にするのではなく、国語辞典の活用、新出漢字を使った短文づくり、ゲーム感覚での書き順定着、熟語づくりなどを織り交ぜて、漢字を正しく書けるようにする。

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

<ul style="list-style-type: none"> ・学校目標である「おだやかに 自ら学び 共に育つ」をより達成するために、今後とも学校の教育活動へのご理解、ご協力及び子どもたちの見守り、応援をよろしくお願いします。 ・「学び」は、日々の生活の中でも多くあります。学校で習ったことを自分の生活で使ってみたり、「どうなっているかな」と一緒に探索してみたりと「学び＝楽しい」を学校だけでなく、家庭でも生かせるようになればと思います。
